

埼玉県看護協会

東部支部 news

2025
vol.03

令和7年度東部支部交流会

メディカルトピア草加病院

高瀬 裕子

埼玉県看護協会東部支部交流会が、9月13日（土）越谷中央市民会館にて開催されました。当日は多くの会員が参加し、会場は盛況でした。今回の交流会は、埼玉県立大学保健医療福祉学部教授・森正樹先生を講師にお迎えし、「発達障害の理解と支援～共に働き・支えあうヒント～」と題したご講演をいただきました。

今回のテーマは、近年社会的にも注目が高まっている大人の発達障害についてです。森先生は、特にASD（自閉スペクトラム症）やADHD（注意欠如多動症）に焦点を当て、臨床現場や職場で遭遇しうる課題を、架空の事例を用いて具体的に解説してくださいました。

事例を通して、発達障害をもつ人々が抱える困難さを理解するとともに、その人らしさを尊重しながら環境を整え支援していくための視点を学ぶことができました。

講演の最後には森先生から、共に働く仲間として私たちが日々関わる支援は自分たちの成長にもつながる、と話されたお言葉が印象深かったです。看護職として日々患者や家族、同僚と関わる中で、誰もが安心して働ける環境をつくることの大切さを改めて認識する機会となりました。

参加者からは「具体的な事例がわかりやすく、自分の職場にすぐに生かせそう」「発達障害への理解が深まり、自然に関われる自信につながった」などの声が寄せられ、非常に有意義な研修会となりました。今後も東部支部では、看護職の専門性向上と地域に根ざした活動を継続してまいります。



編集後記

今回の交流会は、講演を通して学びを深めると同時に、支部会員同士が顔を合わせ意見を交わす貴重な機会となりました。参加者の皆さまから寄せられた前向きな声を力に、今後も有意義な交流の場を提供していきたいと思います。

[制作・編集担当 白鳥 高瀬 久保田]